



令和6年度9月補正予算

9月補正予算額(一般会計) 670億3,267万円

令和6年度予算総額(9月補正後累計) 1兆3,073億4,711万円

令和6年能登半島地震への対応を最優先に、「能登半島地震復興基金」を活用し、被災者の生活支援や住まい・地域コミュニティの再建支援などの施策を盛り込みました。また、6月補正予算以降の情勢変化や事業の進捗などにより、新たに対応が必要となった取り組みも進めています。なお、能登の豪雨災害については、被災状況などを速やかに把握し、遅くとも12月議会までに必要な予算を措置します。

令和6年能登半島地震への対応

●……能登半島地震復興基金活用事業

1 暮らしとコミュニティの再建

- 仮設住宅入居の高齢者世帯などの見守り体制強化
- 広域避難高齢者などの地元介護施設への帰還支援
- 恒久的な住まいへの再建支援
(二重ローンの負担軽減、仮設住宅からの転居費用助成 など)
- 全国からの支援と復興に取り組む団体などを効果的に
つなぐ組織「能登官民連携復興センター」の設立・運営
- 地域コミュニティ施設(集会所や神社仏閣 など)の建替・修繕への助成 など



2 能登の特色あるなりわいの再建

- 「能登事業者支援センター」「ILAC能登」の機能強化
- 被災地の求人・求職マッチング強化
- 高齢者や障害者などが「能登復興推進隊」として
復興業務へ参画する仕組みの構築
- 小規模農家の営農再開に向けた農作業の受託促進
- 「今行ける能登」への観光誘客 など



3 誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくり

- 住宅の耐震改修補助上限額の拡充(最大150万円→180万円)
- 県立看護大学における災害への対応力を有する看護人材の育成
- 地震被害想定調査の対象に七尾湾東方断層帯を追加 など



4 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり

- 道路、漁港、のと里山空港といった公共施設などの復旧



1月1日 「令和6年能登半島地震犠牲者追悼式典」の実施

情勢変化などを踏まえた対応

- 賃上げに取り組む事業者への支援強化
- 小松-羽田便の利用促進に向けたキャンペーン
の実施、旅行商品造成支援



- 金沢港のカーボンニュートラルポート化の推進
- ツキノワグマによる人身被害防止に向けた緊急対策 など

今後顕在化する財政需要に対応

ポイント 「能登半島地震復興基金」

総額 540億円(127億円)

※カッコ内は9月補正予算額

被災市町共通の課題に対応する事業(県分・市町分) 400億円(77億円)

市町へ配分
100億円(50億円)

40億円

国の制度の間隙となっている被災者支援などに活用するため、市や町からの意見を聞き取り、活用方針を決定しています。